



正木 隆 「チューブ」



鈴木健介 「街の灯」



狸小路エリ 「薔薇と十字架」

## ブルーな方が格好いい <1・2階展示室> 正木 隆 / 濂谷美求 / 狸小路エリ / 鈴木健介 他

画家が青年期を越えて、それなりに強い自我を確立するまでに、自分のぶらさげてきたコンプレックスを捨てようとして、うれしく微笑む時があるものです。本能として孤独を愛する、伸び盛りのこの時期には、もちろん将来に対する不安もあります。したがって、絵とごまかしのない対話をすればもっとよいものが描けると信じるのが大切なのです。正木隆も自分の人生経験というものを普遍化する際には、かなり自由に対話の相手に穴を作り、過去の自分を埋めているようです。画家として自分一人だけの殻にひっこむと落ち着きが出て、心さえ澄んだ気持ちになるものだからです。

正木隆は自分の特徴、つまり自分のもっとも主要な表情を表現する色を手に入れました。それは、トンネルの中から見える光のように、素直な心のやすらぎが詰まった世界のようなところです。ところで、コンプレックスが自我に抑圧されることはいいことですが、絵画に安定を作り出す画風の確立というのは、えてして青年期特有の、あのクールで、キラキラした輝きを失うことにもなります。それは不安を免

れて安心を得た人の喪失感という逆説を含んでいるだけに、我々は一種のさびしさに襲われます。しかし、今は無きそのありし日の輝きは、いかにも美しい余韻が続く絵の中にだけでも、見られればよいのかもしれない。

## HOKUBU 文学展示室 <3階展示室>

HOKUBU 記念絵画館では、本年から文学と絵画の密接な関係を基盤とした展示を企画しています。たとえば詩や小説もそうですが、評論というものも広い意味で文学といえます。評論が作品の見方をどう変えて、どのような効果をもたらすかをとらえることも美術館の大切な役目です。もちろん、そういうこと抜きに、展示に直接ぶつかっても、作品の醍醐味は味わえると思いますが、作家と享受者を赤い糸でつなげる評論の経験に目をふさぐことは賢明な状態とはいえません。作品のより良き理解を培うものとしての評論を元にした展示を企画します。

### 【ご予約について】 連続2枠まで予約可能

当館は70分ごとの時間別予約制による貸切での鑑賞です。

右記のお時間帯よりご希望の枠をお選びください。

ご予約は【お電話】【ホームページ】より承っています。

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| ① 10:00 - 11:10 | ② 11:10 - 12:20 |
| ③ 12:20 - 13:30 | ④ 13:30 - 14:40 |
| ⑤ 14:40 - 15:50 | ⑥ 15:50 - 17:00 |



Web 予約

## HOKUBU 記念絵画館

開館日 会期中の【木】・【金】・【土】・【日】曜日  
 時間 10:00 - 17:00 (時間別予約制 \*要予約)  
 入場料 一般：700円、小学生未満：0円  
 障害者手帳をお持ちの方：500円 (介護者1名も同料金)  
 Add 〒062-0911 北海道札幌市豊平区旭町1丁目1-36  
 Tel 011-822-0306  
 Mail kaigakan@hokubu-kinen.or.jp  
 Web <http://www.hokubu-kinen.or.jp>



地下鉄東豊線【学園前】①番出口徒歩 7分

地下鉄南北線【中島公園】①番出口徒歩 11分

P4台分